

# 2年目のデジタルアーカイブと ルイス・デ・アルメイダ、 そして起業へ

## 島貫 泰介

(地域おこし協力隊 2年目)

文化財課 地域アーカイブ部門

活動地域：市内全域

活動期間：令和6年4月～令和8年3月



# 自己紹介

## 島貫 泰介

1980年神奈川県生まれ。  
美術ライター／編集者。  
武蔵野美術大学映像学科卒業。  
写真スタジオや美術館などに勤務後、  
フリーのライター・編集者として活動。  
以来、『美術手帖』『CINRA』などの  
アート＆カルチャーメディアで  
執筆・企画などを担当する。

2021年より別府市にも  
活動拠点を置き、地域のリサーチや  
イベントなどを行う。

2024年4月、  
地域おこし協力隊着任に合わせて  
京都市から大分市に移住。



## 大分市デジタルアーカイブ ～おおいたの記憶～ の運用&PR&利活用促進

大分市デジタルアーカイブ

おおいたの記憶

City of Oita Official Digital Archive

大分市デジタル  
アーカイブとは

目的で探す

所蔵館で探す

おすすめ資料

スペシャル  
コンテンツ

デジタル企画展



ルイス・デ・アルメイダ像（溝口寛作）大分医師会 所蔵

特別展覧会や  
記念フォーラムを  
ぞくぞく開催！

今年  
は  
日本  
初の  
西  
洋  
式  
病  
院  
を  
豊  
後  
府  
内  
に  
つ  
く  
っ  
た  
ア  
ル  
メ  
イ  
ダ  
の  
生  
誕  
五  
〇  
〇  
年

ルイス・デ・アルメイダ  
生誕 500 年記念



# 2025年にやったこと

1月から12月まで

# JR九州 x おおいたの記憶 ART & HISTORY WALK

2025.3-



JRウォーキング  
(3月9日 実施)  
で初配布!

**ART & HISTORY WALK**  
OITA STATION AREA

大分市は  
アートと歴史が  
面白い!

南東部まで発展した開港都市。そして鮮やかな芸術家たちを育てた文化のまち、それがOITA。すまじ時間で大分駅周辺を散策するアートと歴史のショートトリップはいかがですか?

JR九州 × おおいたの記憶

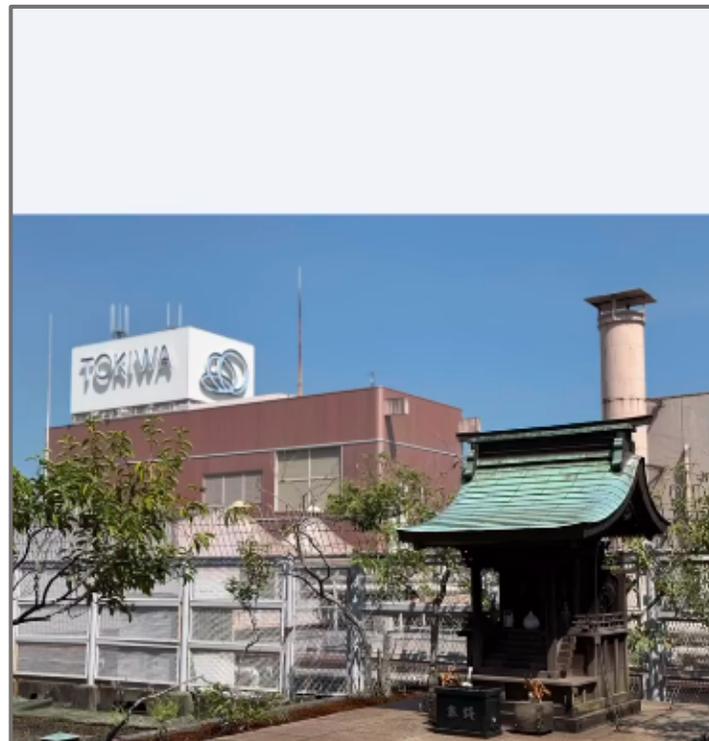
大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。

1 JR大分駅  
2 大分いこの道  
3 大分市美術館  
4 大友氏館跡周辺エリア  
5 府内城跡  
6 大分県庁  
7 府内六軒子  
8 遊歩公園  
9 大分市美術館  
10 大分市役所  
11 竹町通商店街エリア  
12 大分県立美術館

大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。大分市は、JR九州の駅周辺をアートと歴史のスポットで彩る。

JR九州（大分駅）の  
依頼で企画・執筆・編集を担当。  
大分駅周辺の歴史とアートの  
スポットを、コラムとともに紹介。  
JR大分駅、トキハ本店などで配布。

2024年秋頃からトキハ本店屋上の蛭子社の取材を続けており、JRウォーキング同日、トキハデパートと協働し、屋上の再公開も実施しました。



檜物町の蛭子  
(トキハ本店屋上)



oita\_no\_kioku !!記事はこちら !!

トキハ本店 @tokiwa\_honten の南側を走るサンサン通り。そこからさらに西へと、遊歩公園を抜けて住宅地へと伸びる通りには、商売繁盛の神さま「府内六蛭子」が祀られています。

江戸時代前期の郷土史家・戸倉貞則が記した『豊府聞書』によると、かつて大分市には、現在の大分川の水上交通を利用した「市」のまちがありました。そして、そのなかにあった工座町（たくみざまち）に、東国随一の市として賑わっていた下総古河（現在の茨城県）の蛭子神社から蛭子さまが勧請（かんじょう。神仏の分霊を迎えること）されました。

のちに府内藩の藩主に就いた竹中重利によって、工座町など多くの町屋が府内に移動し、檜物町（ひものまち）に名称を変えました。同時に蛭子像も移されて6ヶ所に分神され、現在はトキハ本店屋上に移された檜物町の蛭子像を起点に、下市町、胡町（えびすまち）、万屋町（よろずやまち）の4体と、蛭子像を若宮八幡社に移した小物座町の計5体が残されています。残念ながら、中上市町にあった6体目の蛭子像は太平洋戦争時の空襲で失われてしまいました。

今日、ふたたびこのまちを歩くと、蛭子像を見ることが出来るのは胡町と



noekito、その他が「いいね！」しました  
2024年10月3日

2024年10月にトキハ屋上を取材したインスタ記事

# 「おおいたの記憶」 ノベルティステッカー

2025.3



「おおいたの記憶」  
Instagram PR用に使用。  
限定1000部のキラキラver.も  
新たに制作してレア感を演出。

# 「道の駅 たのうらら」 での展示

2025.4-



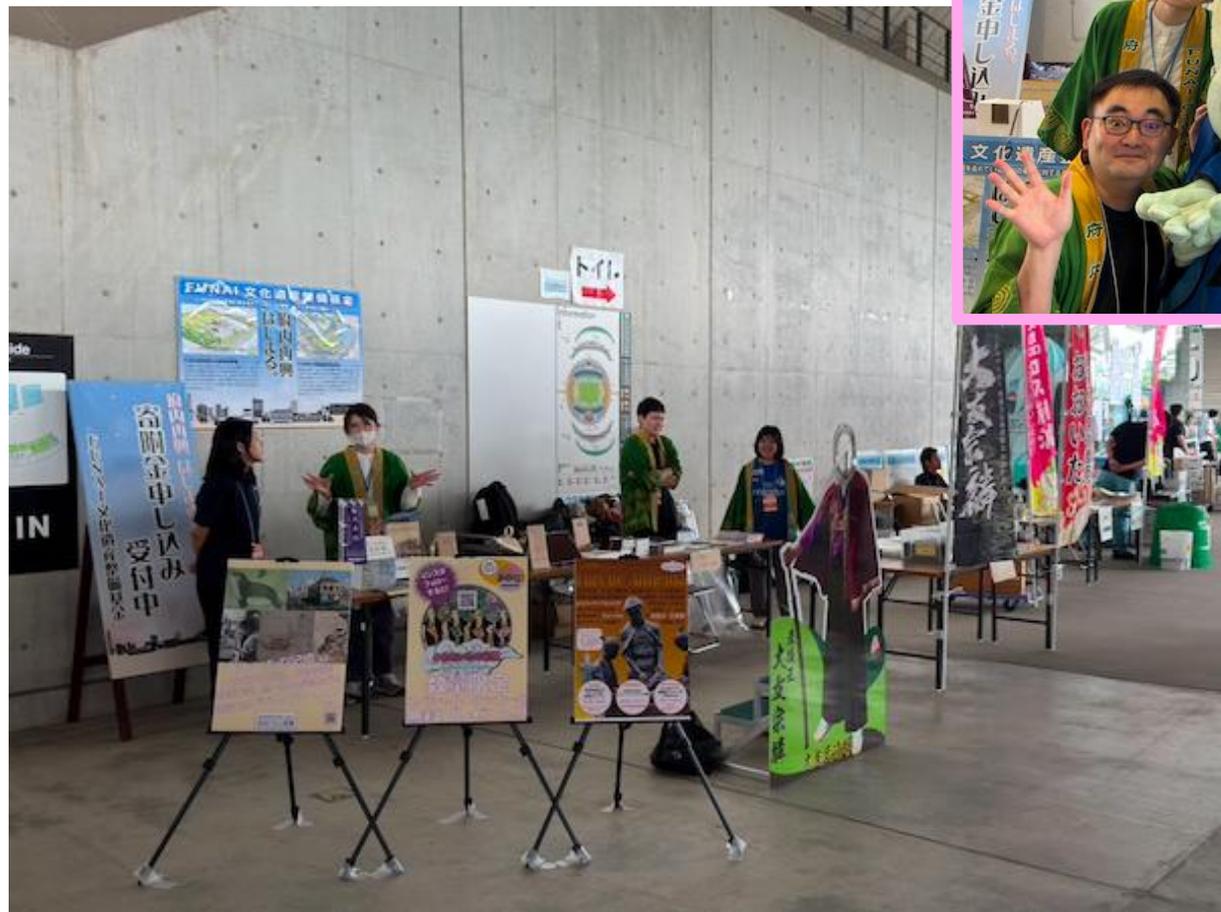
大分市内の古写真と現在の姿を  
並べて見せる「大分市の今昔」に  
新規資料も併せて展示。  
たのうらら周辺の今昔も紹介。  
(2026年1～2月に展示替え予定)

# 大分市ホームタウンデーでの ブース出展

2025.6.15

2024年度に続いて、  
大分トリニータの大分市  
ホームタウンデーに出展。  
前年度行った  
SNSフォローと引き換えに  
景品をプレゼントする  
プロモーションする手法、  
多数の大分市関連ブースに  
マネされててよかった。

この時期からアルメイダ  
関連の広報を本格化



# 令和7年夏季展示「大分の戦争と平和」関連展示 シベリア抑留体験者へのインタビュー

2025.8.15-

戦後80年企画として、大分市歴史資料館での「大分の戦争と平和」展にシベリア抑留を体験した田中悟さんへのインタビューをパネル展示。取材・記事制作は、大分芸術文化短期大学の学生と協力。現在も「大分の戦争」に関するコラボレーションを継続中。



←大分合同新聞の「おおいた戦後80年」でも大きく取り上げられました（8/13掲載）

# 会場で募った戦争体験についてのアンケート 全17通が寄せられました



田中悟さん(91歳)と田中キヌエさん(96歳)ご夫妻

今年101歳を迎えた田中悟さんは、青春を過ごした満洲で終戦を迎え、その後、約4年間におよぶシベリア抑留を経験しました。第二次世界大戦が終わる直前の1945年8月9日、ソビエト連邦軍は国境を超えて満洲に侵攻しました。ソ連の対日参戦による日本人の抑留者は約57万5000人にのぼり、ソ連だけでなく衛星国やモンゴル各地の労働力として連行され、過酷な強制労働によって約5万8000人が亡くなったとされています。現ロシア領中央南部のイルクーツク州で約4年におよぶ抑留を経験した田中さんに、満洲での生活、過酷な抑留、帰国後の大分についてうかがいました。

※本記事はインタビューを記事用に編集しました。ロングバージョンの記録映像は後日YouTubeで公開いたします

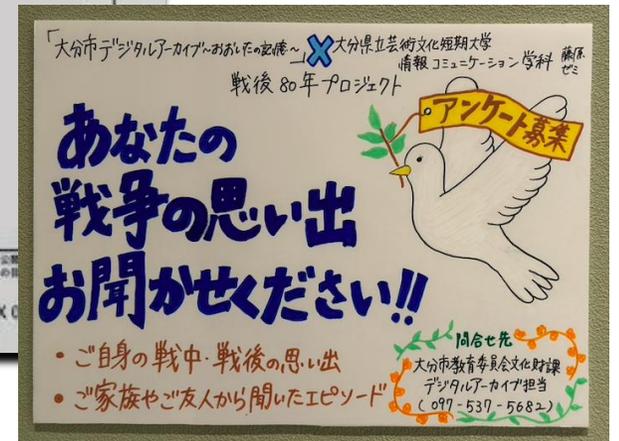
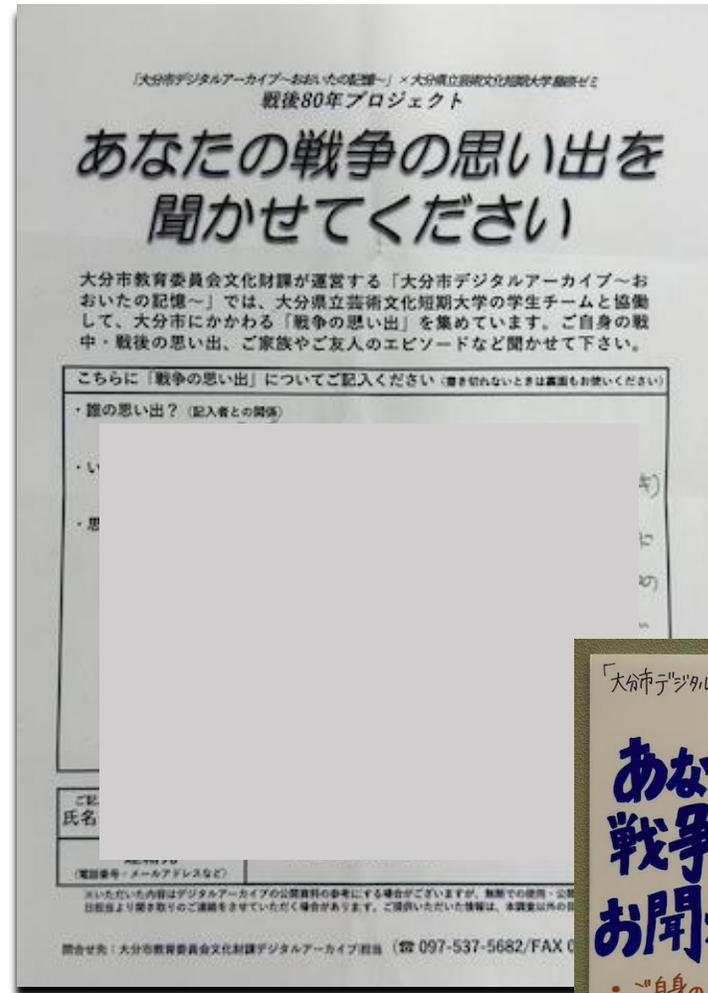
## 満洲・新京で過ごした青春

— 田中さんは昭和20(1945)年5月に新京南営第7580部隊(固定無線教育隊)に入営しましたが、それ以前から満洲で暮らしていたそうですね。

**田中** 昭和16(1941)年、18歳で誘われて新京の土産屋さんに務めていました。だから、入営する5年ほど前から暮らしていたわけですね。満洲の家はだいたいレンガ造りで土木材は凍ってしまうから、冬は仕事がないんです。ほとんどの小さい土産屋さんは5月まで休みで、まあ季節労働みたいなもん。わたしが若い頃は留守番で金ももらえなし、何も仕事せんでよかった。

— 満洲で青春を過ごされたんですね。

**田中** そうですね。やっぱりお金に釣られるんですな(笑)。大分では漁行に務めていて、一番下の給料が19円。班長さんが35円から40円くらいで、それが新京に行くとき40円くれるというんだから。(満洲の生活は)はつきり買ったらのんきなものですよ。向こうの人(中国人)を下に見ちよんからね。我々は指揮者で、クーリー(※苦力。19世紀から20世紀にかけて、主に植民地で肉体的労働に従事したアジア系の移民・出稼労働者)を使えばいいんだからね。満洲は寒いけれど、自分は金を仕送りもせず使い放題で、映画なんかもたくさん見た。関東軍司令部の脇に新京神社というのがあって、春夏秋冬(年)に3回お祭りもあった。甘い考えしなかったんですね、當時は。若い時はそんなもんです。



芸短生が制作した呼びかけパネル

# ヴェルスパ大分 大分市 ホームタウンデーでのブース出展

2025.9.13

2025年度はヴェルスパ大分の大分市ホームタウンデーにも出展。

トリニータと比べると規模は小さいが、アットホーム感あり子どもや家族連れが目立つ。うまくターゲティングできればPR効果を望めそう。



温泉水を使った冷感プールもありました



# 回遊劇場 関連企画 大分 w@nder 夜話

2025.10-

夜のまちあるきツアーも実施



「回遊劇場」関連企画として、歴史とアートで大分を知るトークイベントを開催。OPAM学芸員、文化財課専門職員を講師に迎え、全3回を実施。約40名が参加。珍しいナイトタイムイベントとして好評。

# LIBRO x 大分県立芸術文化短期大学 x おおいたの記憶 ブックカバープロジェクト

2025.10-2026.4



大分市デジタルアーカイブ  
おおいたの記憶  
City of Oita Digital Archive

大分赤レンガ館  
1954年(昭和29年) 大分市市勢調査

赤レンガ館は明治43年に旧二十三銀行本店として設計委員の設計で建築された建物で国の登録有形文化財に指定されています。写真で歴史を受けました。がその後も利用され、平成30年にリニューアルされました。

グラフィックデザイン  
大分県立芸術文化短期大学 専攻科造形専攻1年  
岡部 健太(グラフィックデザイン)

こちら、大分市文化財課！

2025年は、豊後市内で日本初の西洋式病院を開設したルイス・デアルメイダの生誕500年！大分市歴史資料館で毎月第1回を12月7日(日)まで開催中です。また、11月23日(日)には、JCOMホルトホール大分で記念フォートラムを実施。西洋医学発祥の地としての大分を再発見しませんか？

本ブックカバーは、LIBRO、大分県の芸術文化短期大学専攻科造形専攻1年グラフィックデザインコース、「大分市デジタルアーカイブ-おおいたの記憶-」との共同プロジェクトとして制作いたしました。令和7年10月、2028年1~4月の全5回にわたって、同専攻の専攻生5名による多彩なデザインを発表します。

デジタルアーカイブについて

「大分市デジタルアーカイブ-おおいたの記憶-」は、大分市内に点在する歴史的建造物の文化財・史跡のほか、地域の行事や伝統芸能、豊かな自然や景観・暮らし等の文化資源を一元的に管理するアーカイブベースと、それらに公開するウェブサイトです。

おおいたの記憶 Instagram

芸短学生5名がデジタルアーカイブ内の資料を素材に、ブックカバーを制作するプロジェクト。ブックカバーはトキハ3店舗内のLIBRO、および大分市民図書館、コンパルホール別館で配布。第1弾は配布終了。残り4回は2026年1月から4月にかけて配布する。

第1弾

# 現在製作中の第2弾～3弾



第4弾  
(3月末配布予定)

第5弾  
(4月末配布予定)

# こども屋台選手権 x おおいたフェスティバルでの FUNAIジュニアガイド & アルメイダ プロモーション

2025.11.2



大分青年会議所が主催する  
「おおいたフェスティバル」。  
FUNAIジュニアガイドによる  
歴史ガイドコーナー、  
ステージイベントの企画・  
演出などを担当。

# JRアミュプラザでの アルメイダ 広報物の企画・制作

2025.11-

JR大分シティの全面協力を受け、アミュプラザ各所のデジタルサイネージを使って「アルメイダ・フォーラム」をPR。  
掲載用のグラフィックを制作。



# 大分合同新聞での シリーズ連載の企画・編集

2025.11-

「アルメイダ・フォーラム」への機運を高めるべく、大分合同新聞にて登壇者6名によるシリーズ連載を企画。足立信也大分市長にもご寄稿いただきました。

第1回は「アルメイダ入門と未来志向のおおいた」、第2回は「医療と福祉」、第3回は「歴史編」……とテーマを設定し、開催当日に向けて、段階的にルイス・デ・アルメイダを顕彰することの意義、現在の大分に継承されるアルメイダの人道愛、医療の先進性などを紹介。

# ルイス・デ・アルメイダ 生誕500年記念フォーラム

2025.11.23

2025年度、文化財課の最大規模イベント。J:COMホールトホール大分 大ホールに850名が来場。来場者のほぼ4割にあたる350名超の方にアンケートにご回答いただき、「大分の歴史・文化」のポテンシャルを市民と一緒に再発見する機会となりました。



# 今後の予定

- 「道の駅 たのうらら」での新展示（1月～2月スタート予定）
- ブックカバープロジェクトのつづき（4月まで）

## 最終年度

- 大分市の歴史・文化を伝える雑誌の制作
- 佐賀関の街並みなどのアーカイブ構築

準備含め

**最終年度、起業します！**

# 起業、何をする？

大分県内・周辺地域で行われる  
アート、カルチャー、歴史などの  
イベント・発行物の企画・PR・制作をメインとする  
「なんでも屋さん」

# たとえば…

まちなかの文化施設や空き家、  
映画館のない地域での野外上映。  
ワゴンを改良して、どこでも  
手軽に映画館的空間をつくる。



# たとえば…

歴史関連のスポットでは  
歴史もの



大友氏館跡庭園

ナイトクルーズでは  
海洋もの



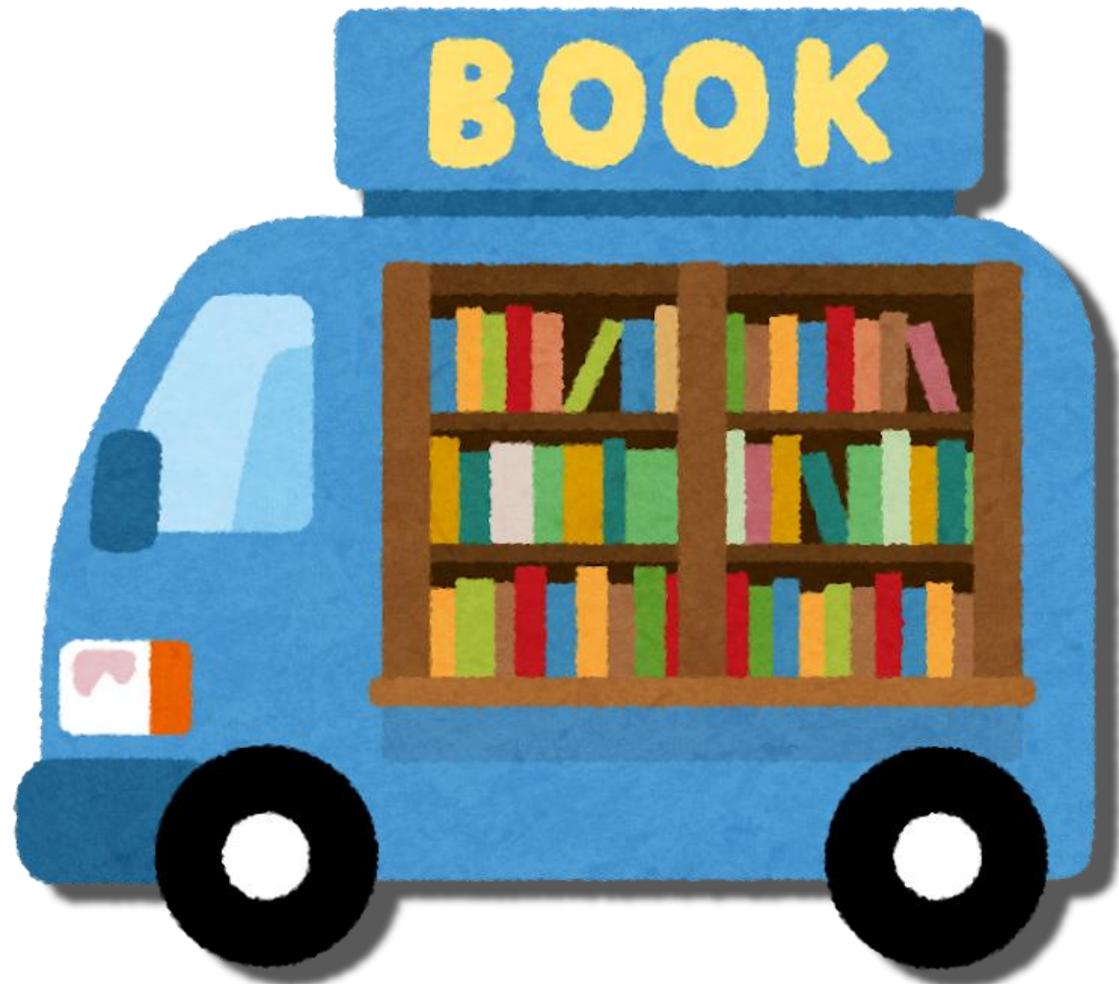
ナイトクルーズ

美術大学では  
アートもの



大分県立芸術文化短期大学

# 上映とあわせて…



イベントごとに品揃えを変える  
移動書店&雑貨屋にも

歴史

アート

スポーツ

ゆくゆくは…

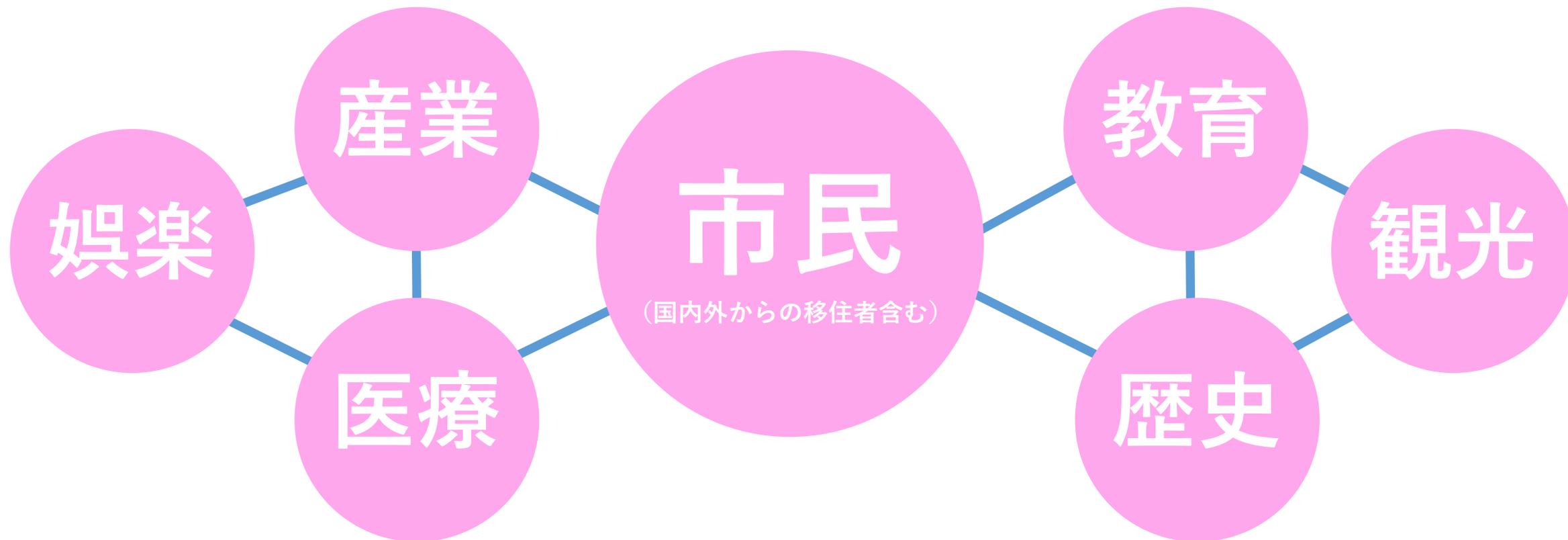
九州全域 + アジア地域を対象とした  
多言語のアート & カルチャーメディアをつくる



南蛮文化のような  
ネットワークで  
多文化・多地域をつなぐ

自分たちの  
文化・歴史を  
自分たちの声で発信する

イベントも商売もメディアも  
他者・他分野を結びつける、ネットワークの性質を持つ



のこり1年少し、がんばります！